



クリスティアン・アルミンク
音楽監督就任!
《SECRETS ~音楽の不思議~》

広島交響楽団 第445回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 445th Subscription Concert



指揮
準・メルクル
Conductor: Jun Märki

©Fotodesign Christiane Höhne

2024.10.11 (金)

18:45開演 [17:45開場] Friday October 11, 2024
Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

コンサートマスター: 四方恭子、蔵川瑠美

Concertmaster: Kyoko Shikata, Rumi Kurakawa

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社



文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

ヴァイオリン協奏曲

ニ短調作品8

Richard Strauss: Violin Concerto in D minor Op.8

交響曲第9番

ニ短調 WAB 109 (ノーヴァク版)

Bruckner: Symphony No.9 in D minor WAB 109 (Nowak Edition)

リヒャルト・シュトラウス(生誕160年)

ブルックナー(生誕200周年)



ヴァイオリン
ポール・ホアン
Violin: Paul Huang

©Marco Borggreve



ブルックナーを偲んで

広響が描くブルックナー・イヤーのラストは完成された未完の大作「交響曲第9番」を届ける。

今年が生誕200周年にあたるが、命日にブルックナーを偲んで「第九」を聴くのはきつと得難い経験となりそうだ。

過去の作品が走馬灯のように回帰される第3楽章は特に…

指揮は、2018年の豪雨災害からの延期公演で初共演し、その後コロナ禍の影響で出演を見送った準・メルクルが満を持して登壇する。

ポール・ホアンをソリストに迎え、ブルックナーと同時代を共有したリヒャルト・シュトラウスの協奏曲も稀有な機会となりそうだ。

チケット(税込/全席指定)

S席5,800円・A席5,200円・B席4,500円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2024年8月19日(月)

プレイガイド/

ローソンチケット(Lコード:60005)、チケットぴあ(Pコード:265-256)、広響事務局

プレミアム協賛/



マツダ株式会社

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

広響公式HP



ブルックナーを偲んで

指揮

準・メルクル Conductor : Jun Märkl

ミュンヘンで生まれ、ハノーファー音楽院でヴァイオリン、ピアノ、指揮を学ぶ。チェリビダッケ、マイヤーに師事。86年にドイツ音楽評議会の指揮者コンクールで優勝、その翌年にボストン交響楽団の奨学金を得てタングルウッド音楽祭に参加し、バーンスタイン、小澤征爾に学ぶ。これまでにザールラント州立劇場、マンハイム国立劇場、リヨン管弦楽団の音楽監督、MDRライプツィヒ放送交響楽団、バスコ国立管弦楽団の首席指揮者を歴任。2021年シーズンから、台湾フィルハーモニック(国家交響楽団NSO)の芸術顧問(22年シーズンより第6代音楽監督に就任)、インディアナポリス交響楽団の芸術顧問、オレゴン交響楽団の首席客演指揮者、ハーグ・レジデンティ管弦楽団の首席客演指揮者に就任。更に25年シーズンからは、ハーグ・レジデンティ管の首席指揮者への就任が決定している。ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場などオペラでの華々しい活躍と同時に、クリーブランド管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団など世界的なオーケストラとの共演を重ねている。

1997年にNHK交響楽団を指揮して日本にデビュー以後、ウィーン国立歌劇場、リヨン管弦楽団などとの来日公演や、新国立劇場、二期会、PMF、水戸室内管、読売日響、大阪フィル、京都市響、都響をはじめとした数々の公演で抜群の知名度を誇っている。レコーディング活動も活発で、NHK交響楽団、リヨン管弦楽団、MDRライプツィヒ放送響などとすでに50タイトル以上のCDをリリースしている。

2012年フランス芸術文化勲章・シュヴァリエを受章。



©Fotodesign Christiane Höhne

ヴァイオリン

ポール・ホアン Violin : Paul Huang

2015年にエヴェリー・フィッシャー・キャリア・グラント、2017年リンカーン・センター・アワードを受賞。ワシントンポスト紙では、豊かな音色と正確な音程でまるで呼吸のように自然に音楽を紡いでいくと絶賛されている。

最近のハイライトとして、ムターの代役で急遽出演したブラボー! ヴェイル音楽祭、ジャニ指揮ロッテルダム・フィル、スラットキン指揮デトロイト響、ルイーダ指揮ダラス響、NHK交響楽団や、メルクル指揮台湾国家交響楽団、ハーグ・レジデンティ管との共演などが挙げられる。

リサイタルに於いては、ルツェルン音楽祭、ウイグモアホール、ソウル・アーツセンター、ルーブル美術館オーデトリウム、アスペン音楽祭、リンカーンセンターなどへの出演で話題を集めている。

台北では、自身の名前を冠した「ポール・ホアンと仲間たち国際室内楽音楽祭」を台湾国家交響楽団との連携で開催している。

台湾にて生まれ、現在はニューヨーク在住。ジュリアード音楽院にて学士号と修士号を取得し、2011年のヤング・コンサート・アーティスト国際オーディション(YCA)優勝。国立台北芸術大学で後進の指導にも努める。

使用楽器は、ストラディヴァリ協会により貸与された、ヴィエニャフスキが使用していた1742年製のガルネリ・デル・ジェス。



©Marco Borggreve

次回
予告

第446回定期演奏会

2024.11.27(水) 18:45開演
[17:45開場]

広島文化学園HBGホール

ブラームス: ピアノ協奏曲第2番変ロ長調作品83

マルティヌー: 交響曲第6番 H.343「交響的幻想曲」



©Shumpel Ohsugi



©HT/PCM

指揮: クリスティアン・アルミンク ピアノ: ゲルハルト・オビッツ